

# 翔生

平成21年 11月号

各地商工会議所で使用されている商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークになっています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語(Young Entrepreneurs Group)の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト、若さ・情熱・広い視野をもった経営者(Youth Energy Generalist)を表現しています。



発行:日本商工会議所青年部(日本YEG)  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-2  
日本商工会議所 中小企業振興部内  
TEL 03-3283-7847 <http://yeg.jp/>  
編集:広報委員会  
委員長:藤原 浩晃  
副委員長:河野 渡/新井政秀  
理事:大江 匠/青木聡明/田中 修/有座宏文  
野崎 良/神部吉昭  
専門委員:五十嵐 亮/吉田 修/小林弘明  
井野口 豊/川崎亮一/水野久美子  
延原正浩/梶原康彦/宮内俊治

P1

## 北海道ブロック大会 遠軽大会

「えんがある、YEGがある、未来がある、ほっかいどう」

P2

## 東北ブロック大会 仙台大会

「活東北！元気な会社を、元気な街を、YEGの手で創ろう!!」

P3

## 北陸信越ブロック大会 新津大会

「団結 ～そして實みのりに向かって～」

P4

## 関東ブロック大会 静岡大会

「感動ブロック静岡大会～いざ、「とく」ある未来へ～」

P5

## 東海ブロック大会 桑名大会

「『わ』桑名よいとこきてみりゃ判る」

P6

## 近畿ブロック大会 八尾大会

「“つどえ”近ブロ “はばたけ”八尾から～未来へつなごう YEGの「縁・絆」～」

P7

## 中国ブロック大会 大田大会

「ほっ。～この郷土(まち)で好(よ)かった～」

P8

## 四国ブロック大会 宿毛大会

「四国は、ひとつ!! いっちきち もんちきち すくも」

P9

## 九州ブロック大会 奄美大島大会

「舵を南に！奄美で見つけよう新たな太陽(ひかり)」

# 北海道ブロック大会 遠軽大会

「えんがある、YEGがある、未来がある、ほっかいどう」

大会に参加したメンバー一同が、開催地テーマ『えんがある、YEGがある、未来がある、ほっかいどう』に込められた思いを、この遠軽の地で大いに感じ取ることができました——。

日本商工会議所青年部  
北海道ブロック代表理事 新川 勝久  
(岩見沢YEG)



日本商工会議所青年部「第22回北海道ブロック大会」が道東・遠軽の地にて9月18・19日に開催されました。全道21単会はもとより、全国各地からもたくさんの方の日本YEGメンバーが来道し大会を盛り上げていただきましたこと、心から感謝を申し上げます。

初日、丸瀬布町で開催された会長会議では、山内会長から事業方針やその進捗状況、日本YEG各委員会の事業説明、さらには奈良会長研修会と松山全国大会の事業PRがありました。

終了後、同町の名湯で有名なマウレ山荘にて前泊者懇親会があり、道内単会会長と日本YEG出向者が大いに交流を深めることができました。二次会〜四次会と流れるのが通常ですが、山荘がネオン街から離れている関係で、宴会場が二次会、各々の部屋が三・四次会となり、普段よりもメンバー同士が語り合うことができ、かえって盛りあがっていたように感じました。

翌日は、場所を上湧別町に移し(約一時間の移動)、大会式典、記念講演会、パネルディスカッションが予定通り行われました。式典のオープニングは遠軽高校吹奏楽部による素晴らしい演奏が披露され、会場からは盛んな拍手が沸き起こっていました。来賓挨拶が多く少し時間をオーバーしましたが、次年度ブロック代表理事(杉本君)及びブロック大会

主管地(留萌YEG)が発表され、それぞれ力こもった?挨拶とパフォーマンスで会場を沸かせていました。また、講演会とPDでは地方分権の可能性や実例の発表、その意義等についての活発な意見交換がなされ、YEGに対しての厳しい意見もあり、身の引き締まる思いで聞いていました(汗)。終了後の大懇親会は、コスモスが咲き誇る「太陽の丘 虹のひろば」に移動し、地元で獲れた海の幸、山の幸をお腹いっぱい食しOB会員も含め、心のこもったものでなしに感激した次第です。あいにくの雨模様でしたが、「ウボングが酋長」がそれを吹き飛ばしてくれ、中身の濃い記憶に残る素晴らしい懇親会だったと思います。

今回、本大会開催にあたり遠軽商工会議所青年部に主管を賜り、心から感謝と敬意を表したいと思えます。大会に参加したメンバー一同が、開催地テーマ「えんがある、YEGがある、未来がある、ほっかいどう」に込められた思いを、この遠軽の地で大いに感じ取ることができました。今後のYEG活動のさらなる発展への糧として、自信を持っていただければ幸いです。終わりに、本大会の準備に際し御支援、御協力を賜りました日本YEG役員、企画委員会の皆様に対し、心から感謝を申し上げます。お礼の挨拶とさせていただきます。

日本商工会議所青年部「第22回北海道ブロック大会」が道東・遠軽の地にて9月18・19日に開催されました。全道21単会はもとより、全国各地からもたくさんの方の日本YEGメンバーが来道し大会を盛り上げていただきましたこと、心から感謝を申し上げます。

初日、丸瀬布町で開催された会長会議では、山内会長から事業方針やその進捗状況、日本YEG各委員会の事業説明、さらには奈良会長研修会と松山全国大会の事業PRがありました。

終了後、同町の名湯で有名なマウレ山荘にて前泊者懇親会があり、道内単会会長と日本YEG出向者が大いに交流を深めることができました。二次会〜四次会と流れるのが通常ですが、山荘がネオン街から離れている関係で、宴会場が二次会、各々の部屋が三・四次会となり、普段よりもメンバー同士が語り合うことができ、かえって盛りあがっていたように感じました。

翌日は、場所を上湧別町に移し(約一時間の移動)、大会式典、記念講演会、パネルディスカッションが予定通り行われました。式典のオープニングは遠軽高校吹奏楽部による素晴らしい演奏が披露され、会場からは盛んな拍手が沸き起こっていました。来賓挨拶が多く少し時間をオーバーしましたが、次年度ブロック代表理事(杉本君)及びブロック大会



「変化に適応するものが生き残る！」～元気な会社を、元気な街を～

日本商工会議所青年部  
東北ブロック代表理事 安田 善好  
(須賀川Y.E.G.)

「活東北！元気な会社を、元気な街を、Y.E.G.の手で創ろう!!」

# 東北ブロック大会 仙台大会



日本商工会議所青年部  
**第28回 東北ブロック大会仙台大会大懇親会**  
主催：東北ブロック商工会議所青年部 日本商工会議所青年部 主管：仙台商工会議所青年部 宮城県商工会議所青年部連合会



9月11日～13日の3日間、「活東北！元気な会社を、元気な街を、Y.E.G.の手で創ろう!!」をテーマに、第28回東北ブロック大会仙台大会が宮城県仙台市で開催され、一〇五二名のY.E.Gメンバーが参加した。  
初日は、東北ブロック総会と会長会議が開催され、次年度の会長予定者(仙台Y.E.G新田氏)とブロック大会開催地(岩手県奥州市)を決めた。  
2日目は、記念式典後に「ここが変(チェンジ)だよ！東北の商売をテーマにアイリスオーヤマ(株)代表取締役社長の大山健太郎氏の記念講演会が開催された。講演会後には「変化に適応するものが生き残る！」～元気



な会社を、元気な街を」をテーマにパネルディスカッションが開催された。パネリストには、東北大学公共政策大学院の久武昌人教授や(株)マイティー千葉重の千葉大貴社長を迎えた。また、会場のY.E.Gメンバーも特別パネリストとして登壇し、全員参加型のパネルディスカッションとなり会場が一体となって今後の会社経営や街づくりについて熱く意見を交わした。  
3日目のエクスカッションは、県連対抗サッカー大会が開催され、スポーツを通してすがすがしい汗を流して親睦を深めた。試合後は握手をしてお互いを称えあい、素晴らしい交流の場となった。

# 北陸信越ブロック大会 新津大会

『團結』として『實』のりに向かつて』

今大会で得た『實』を今後の人生に生かし、  
更なる研鑽を重ね、商工会議所活動の一翼を担い、  
地域の経済的発展の支えと成る青年部を目指し活動して参ります。―――。

日本商工会議所青年部  
北陸信越ブロック代表理事 坂井 一 欽  
(新津Y E G)



10月15～17日の3日間にわたり第29回北陸信越ブロック大会新津大会を新津Y E G 主管で開催させて頂きました。大会テーマを『實』と掲げ、コンパクト&エコを目指し、ANAクラウンプラザホテル新潟をメイン会場として、諸会議、式典、講演会、懇親会を同一会場で行うことにより会場の移動時間の省略、式典内容については、外せないもの、省けるもの、他に動かせるものと見直しを諮りながら取り組みを行わせて頂きました。記念講演会では(株)クロフネカンパニー代表取締役 中村文昭氏より「人のご縁で『實』ある人生を！」と題してご講演頂き、多くの皆様から素晴らしい講演だった、感動したと喜びの声を頂戴致しました。

分科会では新津を知って頂きたいとSL ばんえつ物語号の乗車、明治から昭和初期に日本の石油王として、わが国経済界に重きをなした中野貫一翁が贅を尽くして築造した邸宅(現中野邸美術館)など、新津



に関する見学をして頂き、盛會に終えさせて頂く事が出来ました。

今大会のテーマを『實』と掲げ、参加頂いた皆様から少しでも感動、共感して頂ける大会にしたいと願いを込め、十数名の実動メンバーで準備を進めて参りました。一緒に頑張ってきたメンバーの中には、経営状況の変化など、諸事情により退会を余儀なくされたメンバーも居り、辛い思いも致しましたが、辛さ、悔しさを乗り越え、ブロック内外の約六〇〇名の皆様をお迎えさせて頂きました。新津Y E G が今大会を主管させて頂いた事により携わったメンバーには、少なくとも『實』があったと感じております。今大会で得た『實』を今後の人生に生かし、更なる研鑽を重ね、商工会議所活動の一翼を担い、地域の経済的発展の支えと成る青年部を目指し活動して参ります。皆様ありがとうございました。

# 関東ブロック大会 静岡大会

『感動ブロック静岡大会』いざ、「とく」ある未来へ！

## 『感動ブロック静岡大会』いざ、「とく」ある未来へ！



10月9日～10日の2日間、『感動ブロック静岡大会』いざ、「とく」ある未来へ！を開催地テーマに、関東一円はもとより、全国から1200名を超えるYEGメンバーにご参加をいただき、お陰様をもちまして第29回関東ブロック大会静岡大会の全てのプログラムを無事に終了することができました。静岡市は徳川家康公が晩年の地として居を構えた町ですから、「とく」をキーワードに、ひとつでも多くの「感動」と「とく」をお持ち帰りいただきたいという想いで準備を進めて参りました。今年度、親会であります静岡商工会議所が来春清水商工会議所と解散・新設合併することになり、同時にYEGも解散・新設合併することになりました。117年の歴史を刻んできた静岡商工会議所の最後の1ページを飾る大舞台をご用意いただいたものと、青年部一同一丸となって運営をさせていただきました。結果として主管をさせていただきました私ども静岡YEGのメンバーが

一番多くの「感動」と「とく」をいただいたものと感謝しております。本当にありがとうございました。分科会では、一緒に主管をお引き受けいただきました静岡県青連の皆様、また関東ブロック「スクラム推進委員会」の皆様にお手伝いをいただき、猪瀬直樹氏の基調講演をはじめ7つの分科会を営し、多くのYEGメンバーとともに学ばせていただきました。今大会を通じてYEGの交流と連携、仲間の有り難み、協力して作り上げていく感動、皆様からの支えを改めて感じさせていただくことになりました。厚く御礼を申し上げます。

今年度の関東ブロックYEGでは『価値創造』見えない価値が成功のカギとスローガンに掲げ、大会を通じて感じた「とく」を踏まえ、顕在している企業の「強み」と、潜在している「可能性」を模索しながら、それぞれの自社企業の発展に繋げていただき、今後のYEG活動に結びつけていただきたいと思います。

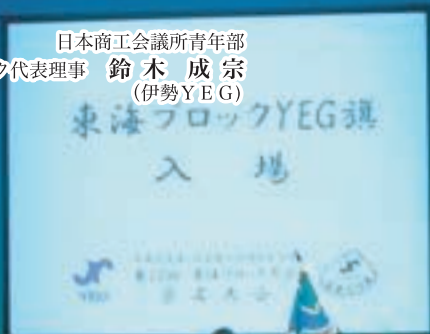


# 東海ブロック大会 桑名大会

「わ」桑名よいとこきてみりや判る」

大会に参加されるみなさんや、名古屋若鯨会のみなさまに、YEGの実力と可能性を知っていただくことや、各地から参加される1000名を超える若手事業家の皆様に少しでも多くの可能性の扉を用意することが、このブロック大会に必要な要素である

日本商工会議所青年部  
東海ブロック代表理事 鈴木 成宗  
(伊勢YEG)



10月23日24日、三重県桑名市におきまして、第22回東海ブロック大会桑名大会を開催いたしました。1200名を超える多くのご登録をいただき、無事にブロック大会を終えることが出来たのは、偏に主管理いただいた桑名YEGの皆様と、ブロック各単会のみな様そして日本YEGの皆様のご協力のおかげと深く感謝いたしております。

中村桑名YEG会長、後藤大会会長、伊藤実行委員長を中心に、桑名YEGの方々が思いを込めてつくって見えたこのブロック大会でしたので、そして、今年に入って大きな怪我をされ、悔しい思いをされていた伊藤実行委員長の思いも判っていましたので、是非でもこの大会を成功させなくてはならないと、また、出来ることなら歴史に残る大会として、長く語り継がれるような大会にすることが、ブロック会長である私の責務だと思っていましたので、ひとまず成功裡に終わりましたことで、今、安堵いたしております。

今回の大会テーマは「わ」でありました。古くから交易で栄えた桑名ならではのこの大会テーマのもと、桑名YEGのメンバー



によって作られた大会骨子に、三重県連で一つと、東海ブロックで二つの分科会を付け加え、合計7つの分科会と、OBサロンという多彩な顔を持った大会を開催しました。

ブロック主催の分科会の開催は、いささか僭越ではありましたが、今年、四日市商工会議所会頭の肝いりで出来た四日市YEGから高い問題意識を持って初めてブロック大会に参加されるみなさんや、名古屋若鯨会のみなさまに、YEGの実力と可能性を知っていただくことや、各地から参加される1000名を超える若手事業家の皆様に少しでも多くの可能性の扉を用意することが、このブロック大会に必要な要素であるという信念から、分科会を追加させていただきました。7つの分科会とOBサロンで出来た8つの輪が、大懇親会で一つの大きな輪になるのを目にし、最後は、ただただ感謝の気持ちで終わることが出来たブロック大会でした。

末筆になりましたが、ご協力、ご尽力いただいた多くのご来賓、関係者の皆様に、深く御礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

# 近畿ブロック大会 八尾大会

「つどえ」近ブロ「はばたけ」八尾から  
「未来へつなごう」YEGの「縁・絆」

日本商工会議所青年部  
近畿ブロック代表理事 飯田 寛光  
(八尾YEG)

会場の片付けを終わり仕上げが盛り上がっているのは夜中の12時、  
しかしそこには大会をやり遂げた喜びと充実感に満ち溢れ、  
お互いの成果と健闘をたたえあう約60人のメンバーが美酒に酔っていました。



第27回近畿ブロック大会八尾大会に、連休明け、決算時期とお忙しい時期でありましたが、一・三〇二名のご登録をいただき盛会に開催することが出来ました。  
式典は多数のご来賓の皆様をお迎えし、華やかな中にも厳かに、そして元氣に行なうことができました。  
午後からは八尾大会の目玉、橋下徹大阪府知事の記念講演が行われました。知事の話し振りはテレビ同様熱い語り口調で会場の皆さんは真剣に聞き入っておられました。会場の人数は記者や大阪府職員も含め式典の時よりも増えており、ほとんどの皆さんが残って聞いていただけたとは、皆さんが近畿地方の政治や経済について、関心を持ち、大きな期待を抱いておられると感じました。  
大懇親会では大阪らしきを出そうと、たこ焼きやお好み焼き等の粉物、二度付けダメよの串かつ、地元名産のえだまめ、その他昔



懐かしいレトロなお菓子や飲み物で演出し、大懇親会終了時もほとんどの方が残っておられたのは、近畿ブロック内のメンバーがお互いに親しく語り合い、縦系に加え横系でも交わり、交流と連携がさらに進んだからだと思います。  
会場の片付けを終わり仕上げが盛り上がっているのは夜中の12時、しかしそこには大会をやり遂げた喜びと充実感に満ち溢れ、お互いの成果と健闘をたたえあう約60人のメンバーが美酒に酔っていました。  
私はこの光景を見て、八尾YEGが強く結びつき、一つにまとまる事が出来たと実感しました。  
今一度八尾YEGメンバーに心より感謝し、このメンバーと一緒に大会が出来たことを誇りに思います。  
皆様、本当にありがとうございました。

# 中国ブロック大会 大田大会

「ほっ。この郷土(まち)で好(よ)かった」

この大会を主管し、皆様と一緒に感動を味わえたことに大いに感謝するとともに、この経験を今後のYEG活動はもとより地域活動、自らの事業においても、大いに役立てていきたいと考えております。

日本商工会議所青年部  
中国ブロック代表理事 山崎 孝一  
(大田YEG)



10月2・3日の2日間、「ほっ。この郷土(まち)で好(よ)かった」をテーマに、日本商工会議所青年部第27回中国ブロック大会 大田大会の開催に際しまして、一〇四五名の登録を頂き、また中国5県ブロック内はもとより全国各地より、世界遺産のある町大田にお越しいただきまして、誠にありがとうございました。

大会当日は前日からの悪天候を心配していましたが、天候も持ち直しさわやかな秋空のもとでの開催ができました。その中で、分科会として地域の特色を生かした大田の豊かな自然、伝統ある文化や歴史に触れていただくことができ、最後の三瓶の大自然のもとで行いました大懇親会まで、大田の魅力を感じていただきながら、皆様方のご協力により無事に中国ブロック大会大田大会を終えることができました。多くのYEGメンバーから労いやお褒めの言葉をいただき、改めて大会の成功を実感しています。



中国ブロックYEG 10周年記念事業を始めとし、初日の会長会議、前泊者懇親会、大会当日の記念式典、記念講演、それぞれ5つの分科会、さらには大懇親会と、大田YEGに協力いただいた中国ブロックYEG、島根県連のYEGメンバー並びにOB会員の方々とともに、一生懸命準備・運営させていただきましたが、至らない点が多々あったのではと反省いたしております。

この大会を通じて、参加頂きました皆様、スタッフ一人ひとりが何か得たものがあるのではないかと思います。

この大会を主管し、皆様と一緒に感動を味わえたことに大いに感謝するとともに、この経験を今後のYEG活動はもとより地域活動、自らの事業においても、大いに役立てていきたいと考えております。

参加していただきました皆様には、重ね重ね感謝するとともに、これからの皆様方の発展を心より願っております。



「変化に適応するものが生き残る！」  
～元気な会社を、元気な街を～

# 平成21年度 第2回 四国ブロック会長会議



## 「四国はひとつ!!」いっしょにがんばり みんなでがんばり すくむ!!

## 四国ブロック大会 宿毛大会

「情熱!!四国!!」  
ACTION YEG  
「One Team!!」力強い日本の創造  
原点復帰、そして新たな進北

日本商工会議所青年部  
四国ブロック代表理事 川田 昌義  
(宿毛YEG)

平成21年度 日本YEG  
四国ブロック会長会議



第26回四国ブロック大会宿毛大会に、四国内外より多数のご参加を賜り心より感謝を申し上げます。  
宿毛YEG少ない人数で、準備段階から、一生懸命に考え試行錯誤しながらも、来て頂ける方々に喜んでいただけるよう取り組んで参りました。

その結果会員同士の連帯感が生まれ、また高知県連の方々にもご協力を仰ぎ、お蔭をもちまして大盛況のうちに四国ブロック大会宿毛大会を終了する事が出来ました事、心より感謝と友情を感じています。  
9月4、5日の2日間「いっしょにがんばり宿毛」をテーマに、初日は、宿毛湾の海が一望できる国民宿舎椰子で四国ブロック役員会、また日本YEG執行部との意見交換会、懇親会を行い最後にはサプライズで宿毛の夜空に花火を打ち上げました。

2日目は午前中から四国ブロック総会と会長会議を行い、次年度の役員、ブロック大会の開催地を決めました。  
その後、午後からの記念式典では、多くのご来賓各位の皆様にご出席を賜り、厳粛で厳かに開催され次年度四国ブロック会長予定者の発表と次期ブロック大会開催地が発表されました。



記念講演では、西川りゅうじん氏をお招きして「俺たちがやらねば、誰がやる!!」いでよ!平成の龍馬、志国から始まる地域再生・日本再生」をテーマにご講演を頂き、これからの地域、会社を元気にするためには、どのように取り組めばいいのかという部分をマーケティングコンサルティングの視点から、ユーモアを交えて、分かりやすくお話し頂きました。

その後3つの分科会に分かれ日本最後の清流四万十川遊覧や宿毛湾での鯛の養殖餌やり体験など高知の幡多地域(高知県西部)の観光を堪能してもらい、また土佐のお座敷文化として、はし拳、べく杯、菊の花などの体験もしてもらいました。  
大懇親会では、土佐のおきやく文化(土佐では宴会のことをおきやくと言います。)という事で、膝と膝をつきあわせた和式スタイルの懇親会で、参加者は大いに盛り上がり親睦を深めることが出来ました。

結びに四国ブロック大会宿毛大会を開催するにあたりご協力、ご指導、頂きました皆様に御礼申し上げます。  
本当にありがとうございました。



# 九州ブロック大会 奄美大島大会

「舵を南に！奄美で見つけよう新たな太陽(ひかり)」

「雨が降り出した時に振り返り向いたら皆さんが笑顔で濡れながら盛り上げてくれていた光景は目に焼きついて離れないとともに絆から団結を感じた一生忘れられない一瞬になりました」

日本商工会議所青年部  
九州ブロック商工会議所青年部連合会  
会長 有島 範明  
(奄美Y E G)



10月30・31日と2日間、「舵を南に！奄美で見つけよう新たな太陽(ひかり)」をテーマに、開催されました日本商工会議所青年部第29回九州ブロック大会奄美大島大会に際しましては九州八県はもとより全国各地から千二十七名の登録を頂き、遠い南国の島、奄美大島までお越しいただきまして誠にありがとうございました。

大会を開催するに当たり、奄美のメンバーは他の大会を見たことのある人も少なく、また加入間もないメンバーが半数以上を占める中、手探り状態でやってきました。不安いっぱいの中、今回は鹿児島県連の丸の支えの元で心強く大会を迎える事が出来ました。

しかし、一生懸命に準備を進めてはきましたが、連絡遅れや案内不足など至らない点も多かったのではと後悔もし、反省しております。

また、飛行機事故の影響で一番多くの人数が搭乗している便が欠航になるなど、予想外のアクシデント続きのなかでゴルフ大会から各種会議、前泊懇親会、式典、記念講演、分科会、大懇親会と鹿児島県連と地域の皆さんの支えの中で、来島してくれた青年部すべての思いやりもあり、なんとかこなす事ができました。奄美だけでは決して乗り越えられなかったと思います。

今年九州のスローガンで「絆から団結、叫び、そして挑戦」とさせて頂いております。大懇親会がもう少して終わりという中で雨が降り出した時に振り返り向いたら皆さんが笑顔で濡れながら盛り上げてくれていた光景は目に焼きついて離れないとともに絆から団結を感じた一生忘れられない一瞬になりました。また、この経験をしたことで鹿児島県連のメンバーは叫び、何事にも挑戦していく勇気を学べたと思っております。

来て頂いた青年部メンバーもなにか新たなものを思い出として心に残っていたら幸いです。そして、また奄美の海で飲みたいと思いたい新たなような機会が来たらそんな嬉しい事はありません。

この経験をした事により会員含め私自身もわずかながらも成長できたものと思っております。今後はこの経験から奄美大島商工会議所青年部、鹿児島県連会員一同、自らの人生と事業に役立てるとともにY E G活動はもちろんの事、地域活動に貢献する事で微力ながら皆様に恩返しをしていきたいと思っております。

この大会を主管し、皆様と一緒に感動を味わえた事に心から感謝致します。

まだまだ未熟なうえ今後でも迷惑もお掛けする事もあるかとも思いますが、今後ともこれまで同様に暖かく見守って頂きますようよろしくお願いいたします。

最後になりますが、参加して頂きました皆様には重ね重ね感謝申し上げますとともに、皆様方の今後のご発展とご健勝を心より祈念致しまして挨拶とさせていただきます。